

親子で楽しむ伝統文化

福山で体験学習会「お能で遊ぼう！」

伝統文化の能を親子で体験してもらう学習会「お能で遊ぼう！」が5日、福山市松浜町2のリーデンローズであった。喜多流大島能楽堂とおしま能学習会(大島泰子代表)の主催で、1歳から小学6年までの子どもと保護者ら約100人が参加。小学生以下が参加するのは初めてとい



扇を持って能の動きを教わる子どもたち
—福山市のリーデンローズで

い、大島代表は「遊びとして能を楽しんでください」とあいさつ。

続いて能楽師の大島衣恵さん(32)、能楽講師の大島文恵さん(29)らが講師となり、「狸々たぬき」の物語を紙芝居で見せ、謡

や小鼓、太鼓の実技を披露。子どもらは扇を手に持ち、指導に合わせてすり足で歩いたり、「ヨ」「ホオ」「イヤー」などの掛け声を体験した。

初めて能面をつけた市

立明王台小6年、寺田光希さん(11)は「面をつけると正面しか見えなかった。すり足で歩くのも楽しかった。またやってみたい」と満足した表情だった。

文恵さんは「子どもでも理解できるよう簡略化しているものの、能の楽しさはたくさん詰め込んで伝えられたと思う。今後子どもたちに能の魅力を伝えていきたい」と話した。【前本麻有】